

令和4年度学校評価 評価項目・評価基準

英語によるコミュニケーション活動を通して、相手の思いを受け止めたり、自国の文化や伝統の良さに気づいたり伝えたりできる児童を育成する。（国際科）

評価項目【成果】	評価基準	評価	成果と課題
児童アンケートで、コミュニケーションや外国のことについての学びが「楽しい」と答える児童	A：11人以上 B：9人以上 C：B未満	A	・不慣れな英語だからこそ、児童は「話す・聞く」ことや「ジェスチャー」等に対して、より高い意識をもち学習活動に臨んでいる。 ・外国への関心を高めるために国際交流会は、効果的である。
評価項目【教育活動】	評価基準	評価	成果と課題
互いに英語で言葉を交わす活動を取り入れる。	A：8割の授業で実施。 B：5～8割の授業で実。 C：Bに満たない。	A	・ALTや留学生とは、英語やジェスチャーを駆使して一生懸命に会話をしようとしていた。 ・児童同士の会話力を向上させることに着目し、指導を見直す。 ・異学年合同授業（低と中、中と高）の可能性を検討する。
外国の講師等から、外国の文化についての講話を計画的に取り入れる。	A：年間5時間以上 B：年間1～4時間 C：実施せず	A	・計画通りに国際交流会5hを実施した。 ・国語や道徳等で外国の文化について取り入れた。
評価項目【運営活動】	評価基準	評価	成果と課題
授業でねらいを達成するためにALTや外部講師と事前打ち合わせを行う。	A：8割の授業で実施。 B：5～8割の授業で実施。 C：Bに満たない。	A	・事前打ち合わせを行い、授業の打ち合わせや教材等の準備をすることができた。 ・「CAN-DO」活用のための準備

外部評価について

①保護者には、学校だよりや学校説明会で、国際科を含めた学校評価を説明し、おおむねよいという評価をもらった。

②学校評議委員の会で、年度当初、国際科を含めた学校評価の説明をし、年度末に結果を見ていただき、質問や意見の後、来年度の方向を示し承認を得た。